

一般社団法人 千葉県理学療法士会 NEWS



2022年6月
第222号

もくじ

報 告.....	2
各部局士会活動案内・報告.....	3
INFORMATION.....	10
編集後記.....	11



URL : <http://www.chiba-pt.org/>

県士会ニュース代表メールアドレス : beekun.sai@gmail.com

◆ ニュース原稿メ切 ◆

No.223 8月号 (7月下旬～8月上旬着)	メ切 6月20日	No.226 2月号 (1月下旬～2月上旬着)	メ切 12月20日
No.224 10月号 (9月下旬～10月上旬着)	メ切 8月20日	No.227 4月号 (3月下旬～4月上旬着)	メ切 2月20日
No.225 12月号 (11月下旬～12月上旬着)	メ切 10月20日	No.228 6月号 (5月下旬～6月上旬着)	メ切 4月20日

❖報 告❖

◆変えたいこと・変えたくないこと

一般社団法人千葉県理学療法士会

会長 田 中 康 之

皆さんこんにちは！

本誌を読まれている方の中には、新人の方もいらっしゃるでしょうし、また他都道府県から転入された方もいらっしゃると思います。ようこそ千葉県へ！これからよろしくお願ひします。

さて、新年度を迎え2点お話をさせていただきます。

【1点目】

新型コロナウイルス感染症に振り回されて既に2年半。本誌前号でも書かせていただきましたが、今年度県士会では当初計画としては原則対面活動を制限し、WEBによる事業実施とさせていただいております。

しかし一方で、人と対峙することを生業とする私たちが、生身の人と対話する方法を忘れてはいないだろうかという不安があるのも事実です。

皆さんは昨年度1年間で、職場以外で何人との新しい出会いがありましたか。何人と直接会って侃々諤々意見交換をしましたか。

今年度、新人として入職した方々は、養成校時代の半分以上で活動を制限されていたはずで、就職して2、3年目の人たちは対面で議論する学会に参加したことがほぼないはずで、当然職場での飲み会なども

なかったでしょう。

私たちは本当にそれでよいのでしょうか？

WEBの活用により新しい出会いや新しい学びは増えました。その活用を否定するものではありません。そして病院・施設等に勤務する立場として行動の制限があるのは「当たり前」ではあります。しかしWEBでは議論の温度感は伝わりません。空気感も伝わりません。

県士会としてはこのジレンマをなるべく早く「変えたい」と考え、役員一同尽力いたします。その時には県士会の皆さまも、ご協力よろしくお願ひします。

【2点目】

この夏には理学療法士業界に大きく影響を与える国政選挙があります。私たちの大多数が医療保険や介護保険、障害福祉制度の傘の下で働いている以上、そこにモノを言える体制は「変えたくない」ことです。そこで、皆さんが持っている1票の権利を無駄にすることなく、是非とも選挙に行っていただきたいのです。

個々人の信条はあることと思います。私にもあります。それはそれとして、私たちの仕事が報われるためにはどうすべきか、県民によりよい理学療法を届けるためにはどうすべきなのか、今のうちから情報を集め、考え、その時に備えていただきたいと思います。

今年度も千葉県理学療法士会の活動に是非ご協力を賜りたく、よろしくお願ひします。

✦各部局士会活動案内・報告✦

📠学術局報告

学術局 局長 藤 井 顕
局次長 小 林 好 信
理事 榎 尾 英 之

従来の生涯学習制度から変わり、新生涯学習（登録理学療法士）制度が開始されました。

登録理学療法士取得のためには、5年間の履修を要し、eラーニングによる座学研修のほか、実地研修の実施や症例発表会への参加が必要となります。

無理なく、順次進められるよう、計画的な履修をお願いいたします。

【県士会主催症例検討会について】

千葉県士会では、県士会主催（学術局ならびに各ブロック）による領域別研修（事例）から開催を進めてまいります。

後期研修対象者の方で事例発表を希望される場合は、県士会のホームページをご確認の上申込をお願いします。

【新生涯学習制度に関して】

学術局企画運営部 部長 室 井 大 佑

2022年度からは新生涯学習制度がスタートし、自施設での実地研修も新たに始まりました。新入会員は、前期2年・後期3年で登録理学療法士の研修が終えられるように計画的な履修をお願い致します。登録理学療法士を未取得の既会員を含めて、e-ラーニングでの受講を進めるようお願い申し上げます。なお、新入会員がe-ラーニングを受講できるのが9月以降となります。詳細については、日本理学療法士協会ホームページから「マイページ→会員専用コンテンツ→新生涯学習制度」にてご確認ください。登録理学療法士更新のための研修会など詳細が決まりましたら、学術局ホームページにてお伝えいたしますので、ご確認ください。

【生涯学習に関する学術局問合せ先】

学術局管理部 部長 伊 藤 新

新生涯学習制度については、日本理学療法士協会のホームページにてご確認をお願いいたします。県士会のホームページの学術局のページにて案内される研修会などにて、ご不明の点がございましたら、県士会のホームページにあります「千葉県理学療法士会学術局」のお問い合わせフォームをご利用ください。

【研究支援セミナーについて】

研究支援委員会 委員長 高 杉 潤

研究支援委員会では、県士会員の皆様の研究活動に役立つセミナーを企画しています。今年度は、研究の導入や大学院（進学）に関する座談会を皮切りに、統計手法、症例提示のポイント、プレゼンテーションのコツなどのセミナーを開催します。さらに新企画として、女性研究者や臨床以外で活躍する研究者による、研究を生かしたPTのキャリア形成の講演も準備しております。県士会のホームページ等を適宜ご確認ください、ぜひご参加ください。

📠第28回千葉県理学療法士学会関連報告①

広報局長 額 額 琢 磨

第28回千葉県理学療法士学会

■テーマ：サステナブルな理学療法士の価値の創造

■会 期：2023年3月5日（日）

●準備委員長挨拶

久々に、対面形式で学会発表してみませんか？

準備委員長 小 林 好 信
(千葉医療福祉専門学校)

第28回学会のテーマは、「サステナブルな理学療法士の価値の創造」です。そういった意味ではコロナ禍にありながら、ここまで学術活動が継続できたのは、オンラインが普及した恩恵ともいえます。オンラインの利便性を実感する一方で、対面の良さが失われたと感じているのは、私だけではないのではないのでしょうか。第28回学会では、対面の良さも取り戻しつつ、今後のサステナブルな学会運営を形にする目的で、ハイ

ブリッド開催にチャレンジいたします。認定・専門PTをお持ちの方は、論文掲載の次に更新ポイントが高い学会発表（20ポイント）をされてはいかがでしょうか？また登録PTの方は、学会参加により登録PTの更新ポイントを獲得することができます（5年で50ポイントの取得が必要です）。ぜひ、前向きにご検討ください。

さて、SDGsが目指す、皆が取り残されない多様性と包摂性のある未来に向けた活動を行っている会員や施設を学会開催までの県士会ニュースでご紹介していきます。今回は、3. すべての人に健康と福祉を、5. ジェンダー平等を実現しよう（女性の社会進出）、8. 働きがいも経済成長も（障害者の就労支援）、11. 住み続けられるまちづくりを、という目標に関わる活動を実践しているお二人に執筆をお願いいたしました。先陣を切って、われわれPTの新たな可能性を切り拓くお二人のお話をぜひお読みください！

●NPO 法人境を越えて

副理事長 本 間 里 美

「もう、来ないでくれ」これは私が訪問理学療法士として働き始めた時、ある患者さんから言われた言葉です。今振り返ると理由は明白で、回復期病棟で行っていたリハビリスタイルをそのまま地域に暮らす当事者の方に押し付けていたためでした。患者さんはみんなもっとよくなりたいと思うのが当たり前だと思っていた当時の私には目が点になるほどの出来事でした。

私は現在、ALS当事者の岡部宏生と共に立ち上げたNPO法人境を越えてで活動し、訪問理学療法士としての関わりを続けています。NPO法人境を越えては、重度に障がいを持った当事者とその家族が地域でその人らしい生活を送れるしくみをつくることをmissionとし活動しています。障がいや疾病の枠を越えた共通の課題である介助者不足解消を念頭においた団体です。2019年に設立し、今年で4年目を迎えます。「知ってもらう」「育てる」「繋がる」の3つの柱で7つのプロジェクトを実施しています。特に主軸活動となっているカリキュラム化プロジェクトは、地域包括ケアシステムの実現（2025年目標）に不足している在宅医療・福祉の充実に貢献できる人材の土台形成を目的とし、地域で暮らす当事者の生き方とその支援者の関わりを実体験を持って理解できるカリキュラムの単位化

を目指しています。5日間の短期集中講座で、重度障がい当事者が地域で暮らすための土台となる医療者の役割やその当事者の生き方をサポートする介助者の視点を学ぶことができます。重度障がい当事者、介助者、現役の医療職が講師となり、当事者宅での介助体験が2日間もり込まれています。日本財団の助成を受け3か年計画で実施しており、モデル事業の段階で2校の大学での単位化が決定しました。



また、「育てる」の活動の一つとし「福祉力養成講座」をオンラインで開講しています。地域で暮らす当事者、家族、支える支援者誰もが一緒にをコンセプトとし、疾患理解（学び）と事例検討（対応）の視点で構成しています。講師陣は、地域で暮らす重度身体障がい当事者、病院や在宅で重度障がい者に深く関わる医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師で構成し、その疾患を深く学べる講座から人工呼吸器等のしくみなどを学べる講座があります。昨年実施したALS・SMA・筋ジストロフィーを深く学ぼうシリーズでは延べ135名の方のご参加がありました。

このような活動を通し、私は理学療法士の職域の広さを感じずにはられません。同時にコロナ禍の影響で障害の有無に関わらずオンラインの重要性が一気に加速し、理学療法士はさらに広い視野で自らの役割や立ち位置を見ていく必要があると感じています。皆様は、「OriHime」をご存じでしょうか？障がいの有無にかかわらず、その場にいくことができない人のもう一つの身体として機能する分身ロボットです。同じ空間にいるためにはそこに行かなければならない！という常識を覆したこのOriHimeのような考え方は、これからの世の中の主流になってくるのだと感じます。理学療法士という仕事の一番の強みはその人の生き方を理解し、専門性を活かした最善の関わりができることであると思っており、関わり方の多様性はいくらで

も広がる。 「できる」を増やすことによって、人間は未来に対してポジティブになれる、というコンセプトのオリヒメと理学療法士がコラボしたら？を一緒に考えてみませんか？

●能動性を最大限に引き出す「プレイフルケア」とコロナ禍の挑戦

児 島 満理奈

(一般社団法人グッドネイバーズカンパニー)

▶「プレイフルケア」と「くちビルディング選手権」



私の所属する一般社団法人グッドネイバーズカンパニー（以下、GNC）は、“これからの地域と医療をもっと参加型で面白いものにしたい!!”という想いのもとに、創造的で遊び心に富んだ新しいケアの形「プレイフルケア®」を提案し、実践する団体です。（プレイフルケアという言葉は初めて目にした方も多いと思いますが、この言葉はGNCが定義した造語です。）

医療現場では“将来にかからないように運動をしましょう”、といった動機づけが用いられることが一般的ですが、「プレイフルケア」はワクワクする気持ちによる前向きな動機づけと行動変容を大切にしています。前者のような医療的な“正しさ”に加えて、スポーツや娯楽といったエンターテインメント性を持つ“人の心を動かす楽しさ”を両立することが「プレイフルケア」の本質だと考えています。

この「プレイフルケア」の柱となる取り組みが、口腔機能特化型スポーツ競技『くちビルディング選手権®（以下、くちビル）』です。「くちビル」は、歯科医師・言語聴覚士といった医療専門職をはじめ、ゲームクリエイターやデザイナーといったクリエイティブ職等と一緒に開発に関わることで、“正しさ”と“楽しさ”の両立を実現しています。

「くちビル」競技の特徴は、摂食嚥下機能と関連のある動きに力点を置くことで、競技に参加することで口の力を使い、食べる機能を学ぶことができる設計となっている点です。大切なことは、正しさにこだわらず、チームで競う楽しさや、また挑戦したい、スコアを上げたい！といった気持ちになるような仕掛けを散りばめること。



更には、医療職と患者間に無意識に生じやすい「する側／される側」といった一方通行の関係性に対し、スポーツを通じて立場や職業の垣根を超えた、共に学び合う関係性を築くキッカケにも繋がっています。

2016年からこれまで全国各地で50回以上開催し、述べ2,500名超の方に「くちビル」を体験いただいています。さらに、この取り組みをより多くの方に届けるべく、共に「くちビル」を広げる仲間づくりの一環として「くちビルディング個人競技認定トレーナー養成講座」を2019年から開催し、全国各地の医療・介護専門職、まちづくり職の方に受講いただいています。

ところが、ここから更に養成講座を広げ、仲間を増やしていきたいと考えていた2020年3月、全国的に猛威を奮う新型コロナウイルスの影響により、私たちの活動も大きな変化点を迎えることになります。

▶コロナ禍の挑戦「まいにち、くちビル」

コロナ禍での新しい生活様式はあらゆる世代の社会活動を制限し、特に高齢者においては外出機会や人との接触機会の減少がフレイルの進行を加速させる要因として注目されています。

集うことの制限により「くちビル」の開催も断念せざるを得ない中、私たちも何かしなければと、自粛生活を送る高齢者に「プレイフルケア」を届けるべく、“爆笑・失笑の30連発！日めくり型フレイル予防プログラム『まいにち、くちビル』”の制作を2020年4月より始動しました。

クラウドファンディングで支援を募り、多くの方の協力をいただきながら完成した「まいにち、くちビル」(右写真)。これまで約1,000件の方に届けることができます



(2022年2月時点)。加えて2021年度には、高齢者サロンでのフレイル対策として、「まいにち、くちビル」を用いた事業を自治体と実施するなど、当初想定していなかった広がり新たに生まれています。

これからも「くちビル」を通して繋がる仲間と共に、より多くの方に「プレイフルケア」という選択肢をお届けできるよう、更なる挑戦を続けていきたいと考えています。最後に、簡単な紹介となりましたが、「まいにち、くちビル」をより効果的に活用いただくためのオンライン講座を不定期で開催しています。少しでも興味を持ってくださった方は、「まいにち、くちビル」特設サイトをぜひご覧ください！

■まいにち、くちビル特設ページ：

https://kuchi-building.jp/mainichi_kuchi_building

■くちビルディング選手権公式サイト：

<https://kuchi-building.jp/>

☑一般社団法人千葉県理学療法士会

令和3年度 第11回理事会 議事録

日 時：令和4年3月11日（金）19時00分～20時25分

場 所：WEB会議

出席者：〈理 事〉田中康之、薄 直宏、竹内弥彦
高橋 聡、児玉美香、藤井 顕
松田 徹、小川明宏、外口徳章
西田裕介、松川基宏、高杉 潤
山岡郁子、榎尾英之、桑江 豊
草木雄二、小林好信、三和真人
渡辺政基

〈監 事〉宮前信彦、吉田久雄

〈委員長〉内村 元

〈委任状〉森田悠介、中村亮太、藤川孝彦

〈事務局〉萩原千春、奥村龍之

〈書 記〉菊池俊明、黒川 諒

1 報告

1) 会長報告

2月15日（前理事会終了後）から本日までの行動概要が報告された。また第27回千葉県理学療法士学会西田学会長からも3月6日に県士会学会が盛会に開催された旨が報告された。

2) 三役局長会議報告

3月7日に開催され、議案調整等について報告された。

3) 全会員配布冊子メールアドレス登録について

Google Form登録数は413件となった。なお、県士会からのメルマガについては、令和4年度下半期から月に1～2回の配信を検討していることが併せて報告された。

4) 令和3年度事業報告の提出について

令和3年度事業報告の提出締切は、4月8日とすることが共有された。

5) ブロック職能関連アンケート結果報告

別紙「ブロック職能関係アンケート結果（項目別）」参照

6) 東葛北部ブロック内における心血管疾患患者に対するリハビリテーション提供体制調査報告

令和3年11月に実施した東葛北部ブロック内における心血管疾患患者に対するリハビリテーション提供体制調査の結果について報告された。

7) BCPセミナーについて

BCPセミナーについて、6月16日19：00～20：30に開催することが報告された。

会費は無料でWEB開催となる。

2 審議事項

1) 事務局予算追加について

令和4年2月15日発送済みの全会員配布物について、印刷製本費、封入郵送料を合わせ811,877円となった。年度内事業として計画されていなかったため、予算の追加について審議され、承認された。

2) 学術編集委員会予算追加について

今年度印刷製本費に当初予算800,000円を約300,000円上回ったことを受け、予算の追加について審議され、承認された。

3) 文書等取扱い規定について

公印の使用及び文書番号の記載等に関する文書等取扱規程について審議され、承認された。

4) 第28回学会広報活動について

第28回学会テーマは「サステナブルな理学療法士の価値の創造」とし、SDGsの達成に向けた内容を検討していることが報告された。それに伴い、広報活動の中でSDGsのロゴの使用について審議され、承認された。

3 協議事項

1) 災害対策マニュアルと事務局フローについて

千葉県理学療法士会災害支援活動マニュアルについて共有され、詳細について協議していくこととなった。なお、田中会長より災害時にはJRATの派遣後に、市町村単位でPTの派遣依頼がある可能性があり、県士会として対応を検討するとの発言あり。併せて、安否確認のテストを行うことが承認された。

2) 令和3年度決算総会の開催について

具体的な開催方法等については、三役及び事務局で検討していくことが承認された。

次回、令和4年度第1回理事会

日 時：令和4年4月8日（金）19時00分～

会 場：WEB会議

以 上

~~~~~  
(別紙)

ブロックへの職能関係のアンケート結果

○ブロックで資源調査を実施する意向があるか？あるのであればどのような資源調査か？

また、調査を実施するにあたって県士会にどのようなバックアップをしてほしいか？

### 行ないたい資源調査

- ・各圏域にどのような機能をもったりハ施設があるか、地図上に配置されたマップのようなもの
- ・地域のリハ資源調査
- ・PTの所属している通所介護事業所（リハ特化型等）・放課後児童デイサービス事業所・訪問看護ステーションの調査

- ・18歳以上の生活介護事業所や生活介護施設でのPTの関わりの調査
- ・会員総数と訪問リハビリを行なっている会員の比率
- ・認定、専門の保有状況、実務との乖離があるかどうか
- ・心リハやHOT・義足の対応といった具体的なリハビリテーション提供状況
- ・呼吸器リハビリテーションを算定している施設及び3学会認定呼吸療法士の資格を持つPTの人数
- ・地域ケア会議・介護予防推進リーダー取得者の把握
- ・新生涯学習システムにともなう講師や座長の適材者
- ・新たにはじまる新人教育プログラムの見学施設
- ・脳卒中連携の会の会員一覧や、障害児・者支援部で小児リハ資源調査・心臓リハ協会での指導士一覧など、様々なところで調査が行われているので、それらを統合して県士会HPでリンクをつける
- ・がん患者の退院後のキャンサートレーニングの場合
- ・会員のオンライン環境の調査

### バックアップしてもらいたいこと

- ・会員の在籍情報や登録施設情報の開示が可能か？  
会員・登録施設外へのアンケートの予算も認めてほしい、アンケート送付作業への支援（香取海匠）

○会員調査（人材バンク）の必要性を感じるか？どのような人材バンクがあるとよいか？

- ・会員の所属先の状況把握、在籍人数
- ・登録理学療法士、認定理学療法士・専門理学療法士、学位取得者
- ・推進リーダー、指定管理者、中央研修会参加履歴者（急性期、回復期、地域生活期）など協会の資格の人材バンク
- ・各県士会所属部員・代議員
- ・千葉県士会発表者・千葉県士会座長経験者
- ・講師可能者人材バンク
- ・地域・ブロック・県士会活動、社会貢献活動への協力意向の有無
- ・介護予防事業、地域ケア会議、小中学校での活動、スポーツ団体・他専門職や行政との連携を行っている会員
- ・各スポーツ分野のスペシャリスト
- ・産業理学療法として会社等へ腰痛予防の指導を行っている会員



- ・新規事業立ち上げや拡充したい場合等、アドバイザーや講師に適した人材とマッチング
- ・理学療法士以外の取得資格者
- ・他県で働いて、自宅会員になっている会員

○専門性を高めるために困っていることはあるか？県士会に実施して欲しい研修会の内容は？

#### 困っていること

- ・共働き世帯の疲弊多い、これらに対しての情報共有や交流会  
※各研修会のオンデマンド配信希望（子育て者への配慮）
- ・ネットワークビジネスに対して

#### 実施して欲しい研修

- ・診療報酬、介護報酬改定について
- ・生涯学習の仕組みとしての理学療法士協会についての説明会
- ・管理者スキル、コーチングスキル、人材育成スキル、組織管理や運営管理、マネジメント  
臨床業務→事務（管理）業務の意義、タスクシフトについて
- ・自己啓発セミナー
- ・キャリアプランニング、論理的思考力、問題解決能力、主体的に取り組む人材の育成方法
- ・院内の新人含めた教育についての研修会、OJTの実例と方法等、院内新人研修の活動紹介、今後の新人教育プログラムについての院内での実施について
- ・さまざまな研修会（新プロ含む）の講師をする人向けの研修会
- ・行政や他団体との連携、関わり方についての研修
- ・高齢者にフォーカスした研修、地域リハビリテーション関連
- ・FIM・ICF・自立支援について
- ・在宅リハ、老健・訪問向け研修会
- ・栄養理学療法
- ・透析の理学療法
- ・脳再生について
- ・社会参加まで支援をする内容の研修会
- ・他職種の活動報告、他職種を知る事（薬剤師・ナース・ケアマネなど）やその方々との関わり、PTに求められているもの

- ・ワークライフバランスの実際
- ・ハラスメントの実例
- ・企業PTの実際
- ・IT技術
- ・ネットワークビジネス・マルチ商法の危険性

○職能局で色々なテーマで座談会を実施しようと思いますが、どのようなテーマの座談会があるとういかな？

- ・年代や、役職別、職域別、疾患別の座談会
- ・キャリアデザイン、働き方改革
- ・行政や他団体との連携・関わりについて
- ・他職種から求められる理学療法士とは
- ・地域づくり・介護予防・生活支援について
- ・職場内の管理体制に関するもの理学療法士人員構成、スタッフの管理、教育体制、人事評価システム、学術活動の推進の仕方（自発的か指示か）、離職率、有休取得状況、キャリアデザイン支援状況 など
- ・診療報酬、レセプト業務について
- ・新人・後輩教育での困り事や悩みの共有
- ・臨床実習について
- ・接遇、プロフェッショナルの心構え（税金・保険・政治）
- ・クレーム対応について
- ・ターミナルケア
- ・介護保険LIFEなど運用の現状や工夫など、介護保険の加算関係
- ・他地域や他県がどのような取り組みをしているのか
- ・症例に対しての失敗例の座談会
- ・インクルージョン・ダイバーシティ
- ・エビステマー
- ・協賛でのイベント開催などの体験談や課題
- ・県士会の役割・ブロックとの関係性について
- ・COVID-19関連

BCPについて

リハ科体制について

家族陽性者の家庭内感染を防ぐ

- ・千葉県理学療法士会理事と話そう！
- ・千葉県理学療法士会田中会長と話そう！  
※会員同士で話が出来る場所作り、そのための関係作りが大切  
※業務に活かせる座談会



## 令和4年度 第1回理事会 議事録

日 時：令和4年4月8日（金）19時00分～20時00分

場 所：WEB会議

出席者：〈理 事〉田中康之、薄 直宏、竹内弥彦  
高橋 聡、児玉美香、藤井 顕  
松田 徹、小川明宏、外口徳章  
西田裕介、松川基宏、高杉 潤  
山岡郁子、榎尾英之、桑江 豊  
草木雄二、小林好信、三和真人  
渡辺政基、中村亮太、森田悠介  
〈監 事〉宮前信彦、吉田久雄、西山晴彦  
〈委員長〉内村 元  
〈委任状〉藤川孝彦  
〈事務局〉萩原千春、奥村龍之  
〈書 記〉菊池俊明

### 1 報告

#### 1) 会長報告

3月11日（前理事会終了後）から本日までの行動概要が報告された。

#### 2) 三役局長会議報告

4月4日に開催され、議案調整等について報告された。

なお、「ブロックでのSNS公式アカウント取得およびクラウドサービス利用の当面の方針について（案）」が提示され、監事からの意見に加えて理事についても意見集約を週明けまでに行い検討することが確認された。

#### 3) 事務局報告

メルマガの登録状況（現在503件）及び今後の対応について報告された。

ブロック等からの情報開示請求については、開示可能かの判断が個別の要件となるため、ブロック担当理事を窓口として、適宜申請する形式で対応する旨が確認された。

#### 4) 代議員総会の開催について

Web開催にて行うことが共有された。なお、当日に向けた運営方法や代議員への周知・参加方法についても併せて検討された。

#### 5) 臨床実習指導者講習会の進捗

2021年度は、全13回開催され、827名が修了したことが報告された。

#### 6) 第27回千葉県理学療法士学会報告

学会運営会社への支払いなど事務的な手続きを継続していることが報告された。詳細な学会報告は次回の理事会で行われる予定。

#### 7) 千葉ブロック長の変更について

千葉ブロック長について、川村氏から橋本氏（元副ブロック長）へ変更されたことが報告され、承認された。

### 2 審議事項

#### 1) 講師世話人の認定申請について

7名の認定について審議され、承認された。

#### 2) 令和4年度予算について

予算について審議され、承認された。なお、事業計画に変更がある場合には再度審議をことが行われることが確認された。

次回、令和4年度第2回理事会

日 時：令和4年5月13日（金）19時00分～

会 場：WEB会議

以 上

❖ INFORMATION ❖

## CPセミナー開催のご案内

災害対策委員長 児 玉 美 香

BCP（事業継続計画）という言葉をご存じでしょうか。各病院、施設等では大地震等の自然災害、感染症のまん延など不測の事態が発生しても、重要な事業を中断させない、早期復旧の方針を示すことが重要です。今回のセミナーが、皆様が所属している病院、施設等のBCP作成の一助になれば幸いです。

開催形式：Zoom ミーティングによるオンライン研修（参加者各自のパソコンやタブレットなどの端末とネットワーク環境が必要です。）

対 象：千葉県理学療法士会会員  
千葉県作業療法士会会員  
千葉県言語聴覚士会会員

定 員：100名

参 加 費：無料

日 時：令和4年6月16日（木） 19：00～20：30

講 師：森 健 氏（WOTA株式会社BB.univ学長）

セミナータイトル：「防災・BCPの基本と実践」

アジェンダ：

1. 防災・BCPの基本～防災活動と事業継続・業務継続の違い～
2. BCPの落とし穴～BCPを正しく策定するためのポイント
3. BCPの実践～現場で役に立つ実践的な計画づくり～
4. 千葉県理学療法士会としてのBCP
5. まとめ・質疑応答

申込〆切：令和4年6月13日（火）

申込方法：QRコードまたはURLから必要事項をご記入のうえ、  
お申し込みください。

参加申込URL：<https://forms.gle/mSkuaD1m9qtn8nuC6>

※お申込み後、メールで研修会参加URLを送りますので、saigaitaisaku.cpt@gmail.comからのメールを受信可能にしておいてください。



備 考：パソコンやスマートフォン、タブレットなどの端末は、カメラ機能、マイク機能が付いていないものでも参加できますが、質問したい方は、マイク機能あるものを推奨いたします。  
6月14日までに研修参加URLメールが届かない場合、また、その他本研修に関するお問い合わせは以下のアドレスまでご連絡ください。

講習会に関するお問い合わせ先

E-mail：saigaitaisaku.cpt@gmail.com



## ❖ 編集後記 ❖

### ● 4月5月を振り返って

ニュース編集部 部長 纈 纈 琢 磨

暖かい日が多くなり暑さも増してきましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。ニュース編集部 部長の纈纈です。会員の皆さま、いつも県士会ニュースをご覧いただきありがとうございます。

さて、今回は私の新年度を迎えてのミスの連続についてお話ししたいと思います……

令和4年度を迎え診療報酬の改定や県や厚生局への届出など、新人教育、人員配置変更、人員不足、新規事業の立ち上げ、ケアマネの更新研修、県士会活動、子供の習い事や部活動の送迎とお手伝い、地域の活動への参加などなど、この4月5月は公私共に忙しく動いておりました。やはり、こんな時はミスが続くもの

で……。法人へご迷惑をお掛けする失態をしたり、県士会活動が遅滞したり、地域の活動がおざなりになったりと、ミスが続き多くの皆さまにご迷惑をお掛けしている今日この頃です……

この原稿が皆さまに届く6月は、どの様な月になるだろうか？

多忙だとしても、しっかりと予定を組み調整し、着実に確実に任務を遂行出来るように、頭も身体も整理しリラックスする時間を設け、クールダウンしながら冷静に対応していけるようにしたいと思います。

皆さまも公私共に色々な務めがあると思いますが、体調に憂慮し、冷静かつ楽しく日々を過ごせるよう工夫をして乗り越えましょう！

最後になりますが、つたない文章を最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

今回のニュース原稿の締め切りは  
令和4年6月20日です！

## ～ハラスメントのない環境のために～

本会はハラスメント防止対策を推進していきます  
地位乱用・IT弱者いじめ・価値観の押付・なんでもハラスメント・熱視線・  
イクメン防止・妊娠の順位付け・性的少数者への偏見・相談放置…  
すべてNGです！

## 千葉県理学療法士会は働きやすい職場づくりを応援しています

困ったときは相談窓口(外部)へ  
千葉県理学療法士会外部相談窓口紹介ページ  
<https://www.chiba-pt.or.jp/pg2188624.html>



### 問い合わせ先

- 千葉県理学療法士会ホームページ  
<http://www.chiba-pt.org/>
- 求人広告のお申込・お問い合わせ  
[chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp](mailto:chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp)
- ニュース編集部  
部長 纈 琢磨  
[t.kouketsu@asunargroup.jp](mailto:t.kouketsu@asunargroup.jp)

※当県士会ニュースの無断転載・引用はかたくお断りいたします

発行人 田 中 康 之

発行 一般社団法人 千葉県理学療法士会  
事務局

〒260-0013 千葉市中央区中央1-11-1  
千葉中央ツインビル1号館1005号室  
Tel 043-301-3065/Fax 043-301-3066  
(電話対応の詳細はHP参照)  
Mail [chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp](mailto:chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp)

編集部 部長 纈 琢磨

医療法人社団 君津あすなろ会  
小見川あすなろクリニック  
〒289-0314 千葉県香取市野田280-1  
Tel 0478-79-5683/Fax 0478-79-5684  
Mail [t.kouketsu@asunargroup.jp](mailto:t.kouketsu@asunargroup.jp)